

令和4年度 第3回入退院時情報共有・連携ルール作業部会議事録

日時：令和4年6月16日(木)

午後3時15分～午後4時15分

場所：社会福社会館 3階会議室

安城市看取り体制の目指す姿

「本人が望む場所で、自分らしく最期まで今を生きる」

1. フロー修正案について (資料1)

病院と在宅側のメンバーでグループを分けてし、グループワークを実施。

フローの追加修正を赤字で卓上にあるA3資料に書き込みを実施。

2. 手順書に入れる項目の抽出 (資料2)

病院と在宅側のメンバーでグループを分けてし、グループワークを実施。

資料2の様式を参考に、安城市の手引書に必要な内容の追加修正の検討。グループ内でこれが必要だと思われる項目についてメモに記載。

3. オブザーバーからの意見

〈作業部会に望むこと〉

・大変な作業だと思う。いろいろ詰めすぎても大変。日々の業務の中で効率よくできるようになれば良い。先行して作成された他自治体のマニュアルをうまく活用しながら、安城の様式に変えて、うまく活用できるものを作っていただくと良い。

・いろいろな職種の方々の話を聞いて、すでにいろいろやられていることがわかり、かかりつけ医が遅れているのではないかと感じる。かかりつけ医は入院時の情報提供、可能であれば、退院時のカンファレンス参加、退院後のフォローといったところであるが、病院に紹介して入院という形にならないと最初のスタートがない。その点を普段から見つつ、患者さんの状態を早く把握することが必要と感じた。皆さんが、今やっている作業に関して、最大漏らさず入れ、しっかりしたものを作ろうとすると大変な情報量になる。それを実際に運用するときに、入院時に欲しい情報が間に合わないことが出てきている。情報量を最大限にして運用するのか、あるいは、最低限のこれだけは伝えてというようなところをきちんと考えながら、スピード感をもって情報交換することが、実際にやるときに必要になってくるのかなと思う。大変な作業だが適時適切なタイミングで情報提供できるようなものが必要と感じた。

4. 事務連絡

第4回の課題について、本日協議した手順書の項目をまとめていきたいと思う。また、本日の作業で、まとめて頂いたフローを事務局で修正し、案としてサルビー見守りネットプロジェクトに投稿するので、中身を確認頂き、次の作業部会までに追加修正したものをプロジェクトに投稿していただきたい。それをもとに事務局で再度修正するためご協力頂きたい。次回フローの完成版を提示できるようにしていく。手順書に入れる項目(案)はあくまでも事務局案であるので必ずしも項目に入れる必要はない。他市のマニュアルで良い情報があれば追加をお願いしたい。

次回開催日

令和4年7月21日(木)午後3時15分～社会福祉会館3階会議室